



三珠中学校校長室だより
 令和7年9月25日発行
 No.24(希珠祭特集②)
 文責 校長 渡邊 康裕



大成功!第55回希珠祭!

前号に続く希珠祭特集の第2弾は3年生演劇から!

3年生演劇

演劇のとりは3年生による『戦争を知らない子どもたち』



です。今年は戦後80年の節目の年。年月の経過にともない、悲惨な戦争を実体験した人たちは次第に少なくなっており、多くの日本人にとって戦争はどこか他人事のようなものになりつつあります。三珠中では毎年、修学旅行で広島を訪れており、今年の3年生も原爆ドームや原爆資料館などの見学を通して平和の尊さを学んできました。そんな3年生が希珠祭最後の演劇として選んだのが『戦争を知らない子どもたち』です。太平洋戦争下の中学生と今を生きる中学生の不思議な出会いをきっかけにして、戦争の悲惨さ、当たり前前の日常のありがたさを改めて考えさせてくれる作品でした。

そして何よりも嬉しかったのは3年生が役になりきり全力で演じることの素晴らしさ、格好良さを後輩たちに伝えてくれたことです。その姿を見て『すごいなあ』と思った1・2年生はきっと多かったはず。3年間の集大成となる素晴らしい演劇でした。



そして何よりも嬉しかったのは3年生が役になりきり全力で演じることの素晴らしさ、格好良さを後輩たちに伝えてくれたことです。その姿を見て『すごいなあ』と思った1・2年生はきっと多かったはず。3年間の集大成となる素晴らしい演劇でした。

そして何よりも嬉しかったのは3年生が役になりきり全力で演じることの素晴らしさ、格好良さを後輩たちに伝えてくれたことです。その姿を見て『すごいなあ』と思った1・2年生はきっと多かったはず。3年間の集大成となる素晴らしい演劇でした。



全校合唱

学芸の部最後を飾るのは、全校生徒と教職員による全校合唱です。今年度の全校生徒数は52人と近年で最少人数となりましたが、6年ぶりに2曲に挑戦しました。1曲目は『ほらね、』。この曲は新型コロナウイルスのため、しばらく実施できなかった全校合唱が復活した令和5年度の第53回希珠祭で歌った曲で、3年生が1年生として取り組んだ思い出の曲です。そして2曲目は三珠中の伝統曲でコロナの影響で一時は伝統が途絶えたものの昨年度から復活した『大地讃頌』です。記録が残る中でもっとも古い平成15年の第33回希珠祭のプログラムにも全校合唱『大地讃頌』と記されています。長きに渡って歌い継がれてきた『大地讃頌』は三珠中にとって特別な曲といえるでしょう。今年もこのメンバーで歌い上げることができたことを嬉しく思います。



今年度の全校生徒数は52人と近年で最少人数となりましたが、6年ぶりに2曲に挑戦しました。1曲目は『ほらね、』。この曲は新型コロナウイルスのため、しばらく実施できなかった全校合唱が復活した令和5年度の第53回希珠祭で歌った曲で、3年生が1年生として取り組んだ思い出の曲です。そして2曲目は三珠中の伝統曲でコロナの影響で一時は伝統が途絶えたものの昨年度から復活した『大地讃頌』です。記録が残る中でもっとも古い平成15年の第33回希珠祭のプログラムにも全校合唱『大地讃頌』と記されています。長きに渡って歌い継がれてきた『大地讃頌』は三珠中にとって特別な曲といえるでしょう。今年もこのメンバーで歌い上げることができたことを嬉しく思います。



展示作品

今年も体育館玄関装飾・総合文化部や各学年展示など様々な作品が体育館内を彩りました。ここではその一部を紹介します。



※第3弾は来週発行予定です。

2年生ペーパーウエイト